

平成31年度 北小学校 グランドデザイン

<学校経営ビジョン>

- ・仲間、学校、地域の支えやつながりの中で人とつながり、新しい社会を創造していく力をもった子どもを育てる学校

学校教育目標

「花とみどりと笑顔の学校」
～あられるあいさつ、ひびきあう心～

<保護者の願い> (学校評価アンケートより)

- ・子どもたちが仲良く、楽しく、安心できる学校
- ・基礎学力の定着を目指す学校
- ・心身ともに豊かな体験活動ができる学校
- ・地域の素材、人材とふれあう活動ができる学校

「社会において自立的に生きる力」の育成
10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造

よくふれあい

多様な大人と直に相互に関わることをとおして、子どもたちは人に対する関心や愛着を深め、信頼感を構築していく。そのことが人と人がつながって新しい社会をつくっていくの源となる。

☆多様な大人の一人としての教師☆

友だちいっぱい

「多様な他者と関わり合う場」を確保します。

- ・外部講師によるクラブ活動、学習ボランティアの呼びかけ
- ・地域社会と関わる職場体験学習(5,6年)
- ・多様な視点から子どもをサポートする「学校応援団」
- ・学年内やペア学級で互いに高め合い、共にふれあう活動
- ・月曜放課後学習の推進(高学年 4月～10月)

「教師と子ども、子どもたち同士が関わり合う時間」を確保します。

- ・リズムを整え、やる気を高める学級独自の「朝の学級活動」

よく学び

基礎とは、子どもに既成の学力を強いることではなく、目を輝かせ、喜びをもって心身を躍動させるエネルギーを育てることであり、学力とは教え込まれた知識の断片の集積量ではなく、自ら学ぶ力の強さである。

☆学び続ける教師☆

思いや考えを伝えよう

「北小学びのスタンダード」を活かして、話し合う活動を大事にします。

1. 話す人は一人です
2. よばれたら、「はい」と返事をします
3. 相手に顔と体をむけます
4. 相手に聞こえる声で、終わりまで話します
5. 相手が話し終えるまで聞きます

「日記(書く)指導」で自ら学ぶ基礎力を育てます。

- ・学年別到達目標を定め、書くことで思考力、表現力を育てる指導
- 「連学年研究体制による授業改善」をします。
- ・全職員が、専門の講師派遣による授業公開・教材研究を通して、授業力向上を目指します。

よく遊ぶ

遊びは生きる力の源。子どもたちの生活そのものである。遊びをとおして自己や友だちの尊厳に気づき、生きる意欲を育て、世界を切り拓いていく冒険心を養う。

☆子どもと共に遊ぶ教師☆

たくさん遊ぼう

「遊びの時間、自主的活動の時間」を確保します。

- 「ハッピータイム」(外遊びの日)の充実
- ・教師も子どもと一緒に外遊びを楽しみます。
- 「全校企画」「学年企画」「遊び塾(いろいろな遊びの紹介)」

【本校の考える外遊びの良さ】

1. 身体が丈夫になり、体力がつく。(体力・運動能力の向上)
2. 異学年との交流が生まれ、人間関係の輪が広がる。(コミュニケーション能力の向上)
3. 五感が刺激され、感性が豊かになる。(思考力向上)
4. 主体的に物ごとに関わることで、自主性が芽生える。(創造力の向上)

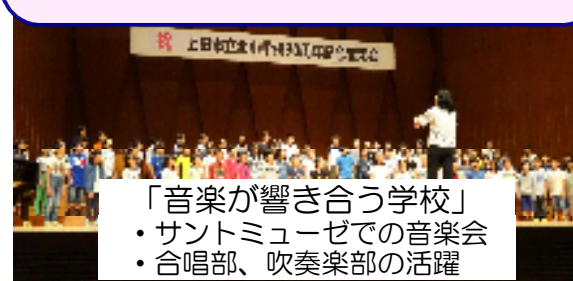


「異学年交流でのふれあい」
・ふれあい集会・ペア読書・ふれあい給食

「花作りを通じた環境美化教育」
・種から育てる学年花壇



<誇りのもてる特色ある活動>



「音楽が響き合う学校」
・サントミュージゼでの音楽会
・合唱部、吹奏楽部の活躍



「ふるさと学習」
・外部講師によるクラブ活動
・3年生によるりんご学習



「職場体験学習」
・地域の職場で実施

- ・なかよし学級、ことばの教室、まなびの教室、日本語教室、心の相談室、保健室と学級がつながり合う支援

<児童理解・適切な支援>

- ・個のニーズに寄り添う支援

<3つのしつけ>

- ① 「はい」という返事
- ② あいさつ
- ③ くつをそろえる

<2つの習慣>

- ① 早寝 早起き 朝ごはん
- ② テレビを消して読書・学習

<保護者・地域との連携>

- ・笑顔まもり隊との連携強化
- ・PTA活動(北小まつり、親子チャレンジ、PTA作業等)

- ・家庭学習の充実
- ・「紡ぐ」ノートの活用
- ・緊急メール配信
- ・学校教育方針発信